

V207a TMT 国際天文台設立 - 計画状況

家正則, 白田知史, 山下卓也, 青木和光, 宮下隆明, 稲谷順司, 寺田宏, 高見英樹, 柏川伸成, 鈴木竜二, 尾崎忍夫, 橋本哲也, Chapman 純子, 神津昭仁, 杉山元邦, 石井未来, 田島俊之, 原川紘季 (国立天文台)

TMT 国際天文台 (TMT International Observatory) の設立のため、TMT 協力評議会に参加してきた 5 カ国 7 機関のメンバーは、国際法律事務所 Hogan Lovells 社の協力を得て、約 1 年あまりにわたり、主協定書、法人設立合意書、寄与内容合意書の協議を重ね、2014 年 4 月に最終文面の合意に達した。2014 年 4 月末までに一連の合意文書に署名した国立天文台、中国国家天文台、カリフォルニア大学、カリフォルニア工科大学の四者を設立初期メンバーとして、2014 年 5 月 6 日に TMT 国際天文台 (TMT International Observatory) が登記され発足した。5 月 22 日には TMT 国際天文台の最高議決の場となる第一回評議員会が開催され、議長に Henry Yang カリフォルニア大学サンタバーバラ校学長、副議長に家正則 TMT 計画日本代表を選出し、執行役員として Executive Director に Edward Stone カリフォルニア工科大学長、Project Manager に Gary Sanders 博士、などを選任した。追って参加予定のインド科学技術省、カナダ天文学大学連合、米国科学財団 NSF は議決権の無い准メンバーとして評議員会に引き続き参加することを承認した。

ハワイ州土地資源局による最終的な建設許可は 7 月までに得られる見通しであり、これを受けて 10 月 7 日に山頂で起工式を行い、本格的な建設を開始する。2014 年度は日本としては建設 9 年計画の 2 年目にあたり、望遠鏡本体構造の詳細設計、主鏡の量産を行う。TMT 観測装置開発のプラットフォームとなる TMT 開発実験棟 (仮称) の建設も着手する。プロジェクトの国際状況と今後の展望について報告する。